

Company Newsletter
Terrace HLDGS

2026.9

TERRACE TIMES

巻頭特集 株式会社中国新聞アド・増田泉子社長との対談

届かないコミュニケーション、
どう乗り越える？

社員の推し活

ご最前線の熱い想い
あふれる推し愛に迫る

グランゲート広島 オープン3周年

関係者よりご挨拶

現場スタッフに注目

最前線で輝く姿にフォーカス

アンケート特集

- ① ナニソレ!? ナゾすぎ業界用語
- ② 一番好きな曜日は? & ご機嫌リセット術

働くパパ&ママの リアルな日常

仕事も育児も! 奮闘するパパ・ママ直撃

拠点NOW!

東京支店・九州支店の生の声をお届け

公式Webサイトが 順次リニューアル

グループ各サイトが、より見やすく進化中!

事業部コラム

テラスHDグループ各事業部から
最新ニュース

No. **07**

巻頭特集

中国新聞アド

増田

泉子社長との対談

(聞き手 広報室)

株式会社中国新聞アド
代表取締役社長増田 泉子
(そうだ・いずみこ)広島市出身、立命館大卒。1986年
中国新聞社入社。記者として活躍
後、2022年、執行役員地域ビジ
ネス局長。25年2月から現職。

Interview

一生懸命に言葉を尽くしたつもりでも「相手に届いていない」と感じることはありませんか。立場や価値観が違う相手に、「話がうまく伝わらない」と、日々のやりとりで頭を悩ませている方も多いのではないのでしょうか。テラスホールディングス（HD）グループは、現在約80名の体制となり、広島を中心に福岡・東京へと拠点を広げています。職種や部署、地域世代が多様化する中で、意思疎通のすれ違いや「伝えたつもり」の誤解は、組織の成長において誰もが直面する等身大の課題です。そこで今回の対談では、メディアの視点から情報発信に向き合う中国新聞アド・増田泉子社長をお迎えし、テラスHDの桑原明夫社長と「言葉の壁をどう乗り越えるか」を語り合ってくださいました。課題を抱えながらも前を向き、明日からの会話が少し楽しめるようになるヒントを探ります。

■なぜ、「コミュニケーションのズレ」が起きるのか

「日々、自社の取り組みや目指す方向性、新しい価値を社内外へ発信されているお二人ですが、一生懸命に「伝えたい」つもりなのに、相手には「少しも伝わっていないかった」という最近のエピソードはありますか。

桑原社長（以下、桑原） 正直なところ、「伝えたいのに伝わっていない」と感じるようなことは日常茶飯事です。ただ、僕自身は最近、そういうギャップに対して少し鈍感になっているというか、あえて感じないようには切り替えている部分もありますね。笑。若い頃は情熱が溢れすぎていて、納得いくまで相手の胸ぐらを掴む勢いで話し込んだり、それこそ馬乗りになってでも（笑）自分の想いを伝えようとしていました。

25年くらい前に、そうやって熱血指導で納得させたはずの営業マンがいたんですが、四半世紀経った今でも見事なまでに同じような失敗を繰り返して、「おいおい、学習能力ないな」って。また馬乗りになってやろうかと思ったり（笑）。もちろん今の時代、そんな指導をしたらアウトですよ！僕自身もいろんな経験を重ねて大人になりましたし、情熱の熱量や経験値のバランスも変わってきましたね。

増田社長（以下、増田） 桑原社長の昭和のようなエピソードはなかなか強烈ですね（笑）。私も若い頃は男社会の中で揉まれて、「おどりや（お前／貴様）、いねえ（帰れ／去れ）」（↑広島弁です）と言われるような環境が当たり前でした。

桑原 耐えられたのは若さゆえの忍耐力があったからだし、「今に見てろよ、このおっさんを見返してやる」という反骨精神が、頑張る源になっていた面もありますよね。

増田 そうですね（笑）。ただ、暴言を吐いた当時の先輩に感謝しているかと問われたら微妙です（笑）。だから、過去のやり方をそのまま今の社員に当てはめようとは思いません。「ミスがあったら傷口が浅いうちに言ってほしい」「ミスかどうかは分からなくても、違和感を覚えたらすぐ相談して」と常々話しています。「結果的に大したことじゃなければ、風呂敷を畳めばいいんだから」って。それでもやっぱり不都合なことを隠したり、後から「実は言えませんでした」っていうことがある。そういう時はすごくショックを受けます。でも相手を責めるより前に、「自分は言いやすい雰囲気を作れていたのだろうか」と自問自答を心掛けています。こちらがいくら「言ったつもり」「伝えたつもり」でも、相手には届いていないんだと痛感することもありますね。

■「言葉はズレるもの」という前提に立つ

届かないコミュニケーション、どう乗り越える？



「伝える」とこと、相手にしっかりと「伝わる」とこと。この二つの間にある決定的な違いや、ズレを埋めるための処方箋はどこにあるのでしょうか。

増田 その質問はすごく難しいですし、私自身が喉から手が出るほど答えを知りたいです（笑）。ただ一つ言えるのは、発信側の「伝えたい」は、どこまでいっても「伝えたい」でしかないということです。受け手がどう受け取ったかは、相手の領域なことです。だからこそ、「言葉は完璧ではなく、最初からズレるものだ」という前提に立つことが大切なのではないでしょうか。そのズレをいかに認識し、小さくしていくか。そのために、話す場所を変えたり、表現を変えたり、時には自分以外の人間から伝えてもらったり。ありとあらゆる手段を尽くすしかない。自分の言葉が生きた言葉として相手に届くかどうかは、経営者にとっても永遠の課題ですよ。

桑原 同感ですね。対面でのやり取りって、ある種の「心理戦」だと思っっているんです。「これを伝えたい」という欲求ばかりを優先してしまうと、相手の状況や心情を理解することが置き去りになっ

てしまう。相手が何を求めているのか、どういう気持ちでいるのかを裏読み……と言うと性格が悪く聞こえるかもしれませんが（笑）、相手がどんな言葉を欲しているか、心情を察しながらコミュニケーションを取ることであれば、そこまで難しくはないと思うんです。経営者の立場で言えば、みんな自己実現への意欲はあるはずですから、「褒められたいタイプなのか」「叱られて伸びるタイプなのか」を見極める。相手を知らうとする姿勢を持てば、自ずと適切な言葉選びが見えてくる気がします。

「組織が大きくなると、全員に目が届きにくくなりがちだと思います。経営陣の思いが空回りせず、一人ひとりに自分のこととして捉えてもらうために、日頃から意識されているアプローチはありますか？

桑原 僕の根底にあるのは、「社員には仕事を楽しくしてほしい」という想いなんです。今の仕事に満足できているか、楽しめているか、という感覚をベースにして社員と接するようにしています。表面的な業務の手順や目標数値だけを押し付けても、人はすぐ仕事に飽きてしまうし、「こんなつまらない仕事やりたくない」となってしまう。だから、仕事に取り組む根本的なポテンシャルや姿勢をどう引き出してあげられるかが大事なんです。そのために、表情や声のトーン、笑顔があるかどうかをよく観察しています。当社は年4回の評価制度を取り入れていて、プロセスも含めて人物評を自分なりに想定していますが、僕が直接関わって全員をしっかり把握できるのは、80人規模が目安なのかなと感じています。それ以上になると、どうしても一人ひとりの変化まで追いきれなくなってしまう。

増田 直属の上司や部門長との役割分担はどうされているんですか？

初期費用を抑えて、定額料金でプロがHPを制作

「サブスク」HP制作

初期制作費 **0円**
月額 5万円～

スマホ
対応文字・画像
修正サーバー
管理

※契約期間は最低3年間となります ※プランにより金額が異なりますので、詳しくは下記までお問い合わせください

お問い合わせ

中国新聞アド

TEL 082-247-6282

平日9:30～17:30（土日祝は休み） 広島市中区宝町5-28





◎桑原 基本的には執行役員や部門長に任せています。現場のトラブルや意思決定は彼らのところで完結してもらうのが理想です。時々、スピードを求めて若い社員が僕のところへ頭越しに決裁を仰ぎに来ることもありますが、方向性が合っていれば「いいと思いますよ」と言いつつ、「ただし、最終決裁は君の部門長に仰ぎなさい」と戻すようにしています。そうしないと部門長の役割がなくなってしまうからね。ただ、「営業力の底上げ」など課題がはっきりしている場合は、僕自ら「社長塾」を開催して営業スタッフを集めて話をします。そこで得た気づきをもとに、適切なサポートをするように心がけていますね。若手社員や新しく入った社員に向けては、外部のコンサルタントが個別に相談できる場を設けています。「会社に報告したくない内容は上げなくていい」というルールにして、人間関係の悩みやSOSをキャッチする仕組みです。

増田 なるほど。私は元々が新聞記者で営業出身ではないので、社員から「ああ、そういうアプローチがあるのかー」と教えられることも多いんですよ。働く仲間がうまく言語化できない時は思いを汲み取って、翻訳して全体に伝えるのが私の役割かなと思っています。究極を言えば、経営者の役割って「みんなが機嫌よく、気持ちよく働いて、しっかりと利益を出して会社を継続させること」に尽きるんですよね。目標はシンプルなんです。だから、自分の言うことが完全に正しいとも思っていないし、社員が私の言うことを丸ごと受け取ってくれない

くても構わないんです。

■「100%分かり合う」を目指さない
―「丸ごと受け取らなくてもいい」というのは、非常に興味深い一言ですね。

増田 だって、「全てを分かり合える」なんて幻想ですから(笑)。家族でも完璧に理解し合えるわけじゃないのに、職場の人間関係でそれを求めるのは過度な期待というものです。期待しすぎるから、裏切られたときにショックを受けるし、ストレスが溜まる。だから、私の言葉の30%でも「あ、これいいな」とキャッチして仕事に活かしてくれたら、それで大成功ですよ。社員の人生は仕事だけじゃないし、この会社で属している時間だけが生活のすべてでもない。大事なのは、「会社を良くする」「成果を出す」といった一つの目的地(ビジョン)に向かって、同じ姿勢(ベクトル)で進んでいるかどうかです。それさえ共有できていれば、途中の道のりや捉え方に多少のズレがあっても問題ありません。誤解を恐れずに言えば、「たとえ完璧に分かり合えなくても、同じ方向を向いていればそれでOK」という割り切りが、スムーズな組織運営には必要なんじゃないでしょうか。

桑原 本当にその通りですね。ベクトルさえしっかり整っていれば、細かな手段はそれぞれが都合の良いように解釈して動いてくれればいい。経営者が示すべきは「導く方向」であって、そこで社員が「自分なりのやり方」で成果を出してくれるのが一番ありがたいわけです。

■雑談力を育む「紙の新聞」と「情報を浴びる習慣」

―デジタル化が進み、スマホやSNSで簡単に情報を手に入れられる時代になりました。その反面、身近なものや地元の魅力には目が向きにくい寂しさもあります。こうした時代に、視野を広げたり、コミュニケーションの引き出しを増やしたりするために意識されていることはありますか？

増田 中国新聞グループの人間として絶対に言わなければいけないことがあります(笑)。今こそ若い人たちに「紙の新聞」を読んでもほしいと思っているんです。デジタル空間だと、アルゴリズムによって自分の好きなキーワードや興味のある情報ばかり

が最適化されて流れてきます。それでは関心が広がるきっかけがありませんよね。でも、「紙の新聞」を開くと、自分がまったく興味のない事件や、地域社会のニュース、文化的な記事が嫌でも目に飛び込んできます。最初は読み飛ばしていても、一週間、二週間と経つうちに「あ、この間の記事の続きか」と興味が生えたりする。自分が関心を持っていなかった分野に触れることで、社会人として、地域で生きる一人として、家族の一員として、視野やステップアップの幅が広がるんです。自分の興味の中に閉じこもっていると、雑談力なんて身につきませんから。

桑原 僕も毎朝、新聞を読むのが習慣で、もう40年以上愛読していますが、完全に同意ですね。デジタルで自分の興味ある情報だけを拾って「全てを知った気」になっている社員を見ると、「もっと勉強しろよ!」と思ってしまう(笑)。僕が若い頃は、新聞記事を切り抜いてスクラップ帳に貼り、それを手に飛び込み営業に行つて取材や商談のきっかけを作っていました。「何か商売に繋げてやろう」という下心もありましたが(笑)、とにかく「情報を自分に浴びせる」という習慣を徹底していたんです。そのおかげで、どんな相手と会話しても、あらゆるジャンルで話題を合わせられる強みがあった。今の時代、「何を話せばいいかわからない」と悩む人は、単純に情報量や知識を広げる努力が足りない場合が多いと感じます。真面目な勉強だけでなく、世の中のくだらない雑学でもいい。自分で取捨選択せず、多様な情報に触れて自分の引き出しを増やすこと。それが、豊かな対話の土台になるはずですよ。

増田 ぜひ皆さんには、いろいろな情報を吸収してほしいですね。コミュニケーションに絶対の正解はありませんが、まずは「自分の枠を広げること」から、それぞれ何かを感じて一歩を踏み出してくれたら嬉しいです。自分の知らない世界を知ることが、目

の前の相手を理解し、お互いに寄り添うための第一歩になりますから。

桑原 そうですね。寄り添いながら日々、泥臭く言葉を交わし続ける。そのキャッチボールの積み重ねこそが、結果として良い仕事や温かい組織を作っていくんじゃないかな。僕自身もまだまだ修行の途中ですが(笑)。

増田 (笑)。私たちももがきながら、正解のない問いに向き合い続けている最中です。

桑原 そうですね。地道に、愚直にやっていきましよう(笑)。

心に新しい風を吹き込む一冊

お二人が深く感銘を受けたという、選りすぐりの一冊をご紹介します。読書の秋、ぜひ手に取ってみてはいかがでしょうか。

増田社長

●重松清著「赤ヘル1975」(講談社)

カープが初優勝したのは1975年。被爆30年にあたるこの年に、東京から広島に転校してきた中学1年のマナブの成長物語です。著者の重松さんは主人公と同年で、岡山で生まれ、山口で育った自称「よそモン」。「隣の県出身で根っこはあまり変わらないつもりだけど、厳密な意味では当事者にならない」。中国新聞社に過去記事を閲覧に来られた際、そんなことをおっしゃって。そこで、生まれも育ちも広島で、年齢が一つ下の私が取材協力などで深く関わらせていただいた経緯があり、私にとっても非常に思い入れの深い一冊です。

その後、東日本大震災が起きて文芸誌での連載スタートが延びました。重松さんは被災地に足繁く通ううちに、原爆にやられた広島でカープが人々を励ました力をいつそうリアルに感じられたようです。

カープがどんなに情けない状況でも捨て置けない。応援するのは喜びよりも苦しみの方が大きい。それでも一喜一憂し、喜怒哀楽をともにする。そうした広島の人間、つまり私の心持ちを、「よそモン」のまなざしで言語化してくれたのがこの作品です。

中国新聞アド 会社概要

中国新聞アド

1973年3月設立。中国新聞グループの総合広告代理店(従業員数約40名)。地元に着目した新聞広告をはじめ、各種メディア広告やイベントの企画運営、デジタルマーケティング、住宅展示場の管理運営などを幅広く手がける。

桑原社長

●堀江貴文・藤田晋著「心を鍛える」(KADOKAWA)

僕にとつての最高の一冊は、18歳の浪人時代に京都の4畳半で食べるように読んだ司馬遼太郎の「竜馬がゆく」です。志を持って時代を切り拓く姿に強烈な刺激を受け、胸に大きな野望を抱き、「東京に出て経済の世界で勝負しよう」と生きる覚悟をくれた人生のバイブルです。

そして今回手に取ったのが「心を鍛える」。IT業界を牽引する堀江貴文氏と藤田晋氏が半生を振り返り、どんな逆境でメンタルが磨かれたかを語り合う一冊です。本書が投げかけるメッセージは「メンタルの強さは才能ではなく、経験と捉え方で鍛えられる筋肉のようなもの」という視点。「静と動」と称される対照的な盟友2人が、激しい変化を生き抜く「ハートの強さ」を明かす本書は、波乱万丈なビジネス人生をタフに楽しむヒントに満ちています。自分より少し若い世代の経営者の本ですが、「そうそう、あるよね」と歩んできた苦労や経験を答え合わせするように、深く共感しながら読みました。



社員の
推し活

いつだって、そこに赤がある

—— カープ愛は止まらない、止まるわけがない ——

グランゲート広島【リベラテラス】
アシスタントシェフ

E.A さん

(2025年5月入社)

生まれながらに、夜になれば家でカープ中継が流れるのが当たり前の環境で育ちました。本格的に応援に通り始めたのは高校生の時。友達に誘われて旧広島市民球場へ行くうちにハマっていきました。実家の自室はスイッチから毛布、クッションまで赤一色。今の自宅でもテレビ前にぬいぐるみを並べ、玄関の一角にはギャラリーを作っています。気づけばユニフォームやTシャツは50着超え。普段も無意識に赤を選ぶので友達には「はい出た、赤〜!」と呆れられるほど。オレンジ(巨人)やイエロー(阪神)など他球団のカラーは無意識にスルーしちゃいます(笑)。

永遠の「最推し」は廣瀬純さん(現カープ2軍コーチ)。選手が調子悪くて2軍調整のときも、ファンは応援しに練習場へ駆けつけるんです。廣瀬さんの現役時代も「早く1軍へ戻ってきて!」の思いで通っていました。そんなある年の私の誕生日。友達が「今日この子の誕生日なんです」と話しかけたら、なんと廣瀬さんが「じゃあ、これあげるよ」と身につけていたリストバンドを外して、プレゼントしてくださったんです!あの神対応は言葉にできないほどの感動で、今も我が家の特等席に飾る宝物です。

その廣瀬さんの「魂の応援歌」を引き継いだのが菊池涼介選手。バットが振られた瞬間に一步目が動く異次元の守備を見るためだけに観戦に行く価値アリです!廣瀬さん、ブラッド・エルドレッドさん、菊池選手(私の神3!)、今の若手まで、カープの歴史を彩った選手やOBには感謝と愛が止まりません。25年ぶりのリーグ優勝(2016年)は人生ベスト3に入るくらい泣いちゃいましたね。新井貴浩選手(現監督)の2000本安打や黒田博樹さんの日米通算200勝、大瀬良大地投手のノーヒットノーランなど歴史的瞬間は現地で見届けてきました。新井監督の時は開幕前からチケットを獲り、神宮球場まで遠征した日に見事2000本安打達成!(私、ツイてる!笑)あの歓喜は忘れられません。

伝統の「カープうどん」は無性に食べたくなる味で、夏季限定「冷やしぶっかけ」もおすすめ!球場で飲むビールも格別です。マツダスタジアムは1人で行っても、得点が入れば見知らぬファンとハイタッチして喜び合える温かい場所。あの空間全体がアトラクションみたい!だからルールが分からなくても大丈夫。美味しいグルメやお酒を楽しみ、選手たちの真剣な姿やスタンドの一体感を味わうだけで心が明るくなります。勝っても負けても熱くなれる最高の空間なので、ぜひテーマパーク感覚で訪れてみてほしいです!



コレクションから厳選された思い出グッズ(これも1/100くらい?(笑))。「カープ愛はもちろん、実は根っからの野球好き!野球というスポーツそのものを全力で楽しんでいます」



「勝った試合の装備は変えない。負けたら即ローテ交代!(笑)」。ゲン担ぎを語る表情からも、カープへの愛が溢れています♪

グランゲート広島 3rd Anniversary



おかげさまで3周年。

感謝を胸に、私たちはNEXT GATEへ

9月30日(水)、グランゲート広島は、皆様の温かいご愛顧と地域の方々を支えられ、無事に3周年の節目を迎えることとなりました。日常の「おいしい」や「心地よい時間」、そして特別な日の記憶を紡ぐ一皿まで。グランゲート広島を彩る各店舗の代表より、日頃の感謝と、これからの未来に向けたメッセージをお届けします。

*グランゲート広島 総支配人

いつもグランゲート広島をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。おかげさまで、オープン3周年を迎えることとなりました。今日まで支えてくださったお客様、そして地域の皆様、心より感謝申し上げます。

日頃の感謝を込めて9月25日(金)〜30日(水)にて、3周年記念イベントを開催いたします。「幸せを食べる」特別な体験と、次の未来への扉(NEXT GATE)へ進むワクワクをご用意して、皆様のお越しをスタッフ一同心よりお待ちしております。

*リベラテラスシェフ

おかげさまでグランゲート広島は3周年を迎えることができます。足を運んでくださるお客様、新鮮な食材を届けてくださる生産者様のおかげです。スタッフ一同感謝の気持ちでいっぱいです。これから全力のイタリア料理をお届けできるよう日々精進して参ります。

*ザスタンダード 베이カース店長

なにげない日常の中で、たくさんのお客様に支えられながら、ザスタンダード 베이カース広島は3周年を迎えることができました。長く愛されるお店を目指し、精いっぱい感謝と笑顔を含めて、これからもおいしいパンと心地よい時間をお届けしてまいります。

*広島北ビール 代表取締役

いつもグランゲート広島および当店をご利用、ご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。当店としては2026年から新体制となり、さまざまなご指摘とお褒めのお言葉をいただきながら、日々皆様にとって「来て良かった」と思われるサービスを追求しております。進化にこだわりスタッフ一同頑張っておりますので、変わらぬご愛顧のほど、よろしく願っています。

焼きたてのパンの香り、仲間と乾杯する笑顔、そしてシェフが情熱を注ぐ至高の味わい。それぞれの店舗が生み出す「幸せな体験」の根底には、いつもお客様への感謝と、一皿一品を支える素晴らしいパートナー(生産者)たちの存在があります。この度は、リベラテラスの料理を支え、共に「食の感動」をつくり届けてくださっている「矢掛町イタリア野菜プロジェクト」の皆様より、温かいお祝いメッセージをいただきました。私たちの挑戦を支えてくれる大切なパートナーの想いを、ぜひ下記メッセージよりご覧ください。



当プロジェクトの取り組みや野菜のご注文はホームページをご覧ください。

矢掛町自慢のイタリア野菜



実際に畑を訪れ実感した農家さんの強い想いと丁寧な仕事。大切に育まれたイタリア野菜の魅力を、料理を通してお客様へお届けします。(リベラテラス料理長 西原シェフ)



矢掛町の畑へ視察にいらしたリベラテラスの皆様と農家さん

3周年、誠に
おめでとうございます

矢掛町まで足を運び、畑で野菜を見て、味わい、生産者と語り合う。そんな時間を大切にしてくださるシェフに敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。

リベラテラス様が発信する一皿一皿から、矢掛町をはじめ各地でつくられた農産物の魅力が、さらに多くの方へ届いていくことを楽しみにしています。

これからも、リベラテラスのパートナーとしてお役に立てるよう、矢掛町イタリア野菜プロジェクトメンバーの野菜づくりを応援し、品質の高い野菜を末永くお届けいたします。

桑原組 静かなる情熱、確かなる仕事

テラスHDグループの桑原組では、鹿島建設株式会社中国支店様主催の「協力会社改善事例発表会」での優秀賞受賞、そして「総合安全衛生大会」におけるS.KさんのE賞受賞(当社としては2年連続受賞!)と、素晴らしい成果が続いています。デジタル技術と現場の知恵を融合し、安全で確実な工事を完遂する力——。今回は、桑原組の強みを体現し第一線で輝く皆さんの声をお届けします。

改善事例発表会 優秀賞 受賞!

「第52回協力会社改善事例発表会」 「安全・担い手確保」部門で「優秀賞」を受賞!

2026年7月28日に開催された鹿島建設株式会社中国支店様主催の「第52回協力会社改善事例発表会」において、「高さ75m! 生産工場の煙突解体～着工前の詳細計画で築く絶対安全の砦～」を発表し、「安全・担い手確保」部門で優秀賞を受賞しました。当日は、K.K部長が登壇し、U.Hさんが資料投影を担当。およそ9ヶ月間に及ぶ工事事例をテーマに「安全・安心な作業環境の構築」を課題として掲げ、実際の作業風景を収めた写真や動画を交えながら、現場での取り組みとその効果について発表いたしました。当社は今回の受賞を励みに、2026年10月23日(金)開催予定の全国大会(全国発表会)に臨みます。



環境リスクマネジメント事業部
部長 **K.Kさん**
(2000年11月入社)

発表資料の作成から当日の投影までを担当されたU.Hさん。「上手にまとめられていた!」と、社内でも評判でした! 資料を作りながら、「仲間や部署の魅力・強み」を再発見したエピソードがあれば教えてください。

今回の事例は、各関係者皆さんの過去の経験と安全意識に加え、職長のS.Kさん自らによる安全な施工方法の提案や工夫が、確実な工事の完了に結び付いたものと感じています。解体現場には危険が伴うからこそ、安全で確実な作業が求められます。問題に直面した際にも、全員で意見を出し合い、その解決策を実行できる環境が私たちの部署の強みです。資料作成を通じて、豊富な経験を持つ職長をはじめ、一人ひとりが持つ対応力や安全への意識の高さを改めて実感しました。

工事における安全対策などの工夫や、苦勞を教えてください。
また、現場スタッフのみなさんへのメッセージをお願いします。

本工事は経験の少ない特殊な解体工事だったため、安全面を最優先に施工計画を見直す点に苦勞しました。BIMでリスクを可視化し、現場スタッフを含めて意見を出し合い、「デジタル技術」と「現場の経験・創意工夫」を融合。その結果、より安全で実現性の高い計画を立案し、工期短縮にも繋げることができました。

厳しい暑さの中、体調管理をしながら現場を運営する皆さんに改めて感謝と敬意を表します。今回のような特殊な工事でも一人ひとりが安全を考え知恵を出し合うことで無事に完遂できました。「安全に施工できる力」は桑原組の大きな強みです。これからも現場の経験を会社の財産として磨いていきたいと思います。



環境リスクマネジメント事業部
技術サポート **U.Hさん**
(2024年4月入社)

S.Kさん E賞 受賞!

「第60回総合安全衛生大会」において「E賞」を受賞! (※鹿島建設株式会社中国支店様主催)

2026年6月9日に開催された鹿島建設株式会社中国支店様主催の「第60回総合安全衛生大会」において、S.Kさんが「E賞」を受賞しました。

この大会は、建設業界の各企業が集まり安全管理の徹底と無災害への決意を深める会合です。「E賞」は、鹿島建設様が施工する建設工事において、安全管理や円滑な施工、生産性向上などに大きく貢献した協力会社の優秀な技術者や職長(優良技能者)に贈られる表彰制度(Excellent Engineer & Professional)です。担当した「某企業様 煙突解体工事」での徹底した無災害達成と優れた安全管理が高く評価され、当社としては昨年に引き続き、2年連続での表彰となりました。



環境リスクマネジメント事業部
工事部 職長 **S.Kさん**
(2012年10月入社)

広報 voice

「改善事例発表会」でも取り上げられたこの現場で、S.Kさんは職長として活躍されました。日頃の徹底した安全管理と現場での努力が実を結び、チーム全体の素晴らしい賞へと繋がっています。皆さん、本当におめでとうございます!

- 表彰おめでとうございます!
受賞された際のお気持ちはいかがですか?
ありがとうございます! 自分一人の力ではなく、周りの皆さんのサポートのおかげで無事に成果を出すことができました。
- 入社約14年、長く第一線で働き続けられている秘訣を教えてください。
上司や先輩方にいつも親身になって接していただけているからでしょうか(照れ笑い)。とにかく一緒に働く「人」に恵まれているなど日々実感しています。
- 休日のリフレッシュ方法がありますか?
美味しいお酒(特にビールが好きです!)を飲むことと、しっかり睡眠をとって体力を回復させることです。
- これからの目標や、社員の皆さんへメッセージをお願いします!
日頃から支えてくださり感謝しかありません。これからも丁寧な作業を徹底し、「安全第一」で皆さんとともに頑張っていきたいと思います!

ナニソレ!? 新人が現場でフリーズした、ナゾすぎ業界用語

「役所広司…?」「え、ラーメン…?」——。隣のデスクから聞こえてくる、聞き慣れない謎の言葉。入社してすぐ、現場やオフィスで飛び交う専門用語に「ん?」と心の中で首をかしげた経験はありませんか? 今回は、社員が実際に現場で「ナニソレ!?」と驚いた社内・業界用語をご紹介します。入社一年未満の皆さんの素朴な疑問から、知ると奥深いベテランの常識まで。読めば納得、知れば面白い! 現場のリアルな専門用語を解説付きでお届けします。

知ると奥深い! 「なるほど専門用語」編

【アニキ／弟】

調理現場の言葉。先に入った古い材料・生地が「アニキ」、後から入った新しいのが「弟」!



広報室
D.Tさん
(2025年12月入社)

【トンマナ】

「トーン&マナー」の略。デザインや文章の世界観を統一して一貫した印象を伝える指針。

【サイセキ(砕石)】

天然の岩石を破砕機などで人工的に小さく砕いた石。



ザ スタンダード ベイカース
販売スタッフ **H.Hさん**
(2026年6月入社)

【コンクリートがら】

工事で出たコンクリートの廃棄物。

【マニフェスト】

産業廃棄物の流れを正しく管理するための伝票。

【グリーンサイト】

労務や安全衛生管理の書類を、ネット上で作成・提出・確認できるWebサービス。



環境リスクマネジメント事業部
営業 **O.Tさん**
(2025年11月入社)

思わずフリーズ! 「勘違い・ナゾ解き」編

【役所工事】〆 役所広司さん?

正解 官公庁から受注する公共工事のこと。

【ラーメン構造】〆 ラーメン?

正解 柱と梁を接合した建築構造のこと。

【コンマ7】〆 …?

正解 バケット容量が0.7立方の油圧ショベル(ユンボ)。

【KY】〆 空気読めない…?

正解 「危険(K)予知(Y)」活動。現場の安全を守る最重要ワードの1つ!

【ヒヤリ・ハット】〆 …?

正解 「ヒヤツ」としたり「ハツ」としたり。



【さんばい】〆 さ、さんばい(参拜)?!

正解 産廃(産業廃棄物)



1 お子さんは、何歳ですか？

Mさん

9歳と7歳の姫と太郎です。

Yさん

長男16歳、次男14歳。
米がいくらあっても足りません！

2 どんな育児・家事を担当していますか？

Mさん

休日の食事当番・お風呂掃除・洗濯、外出時の運転、夜歯磨きの仕上げなど。

Yさん

令和の男は家事ができて当たり前。いつ一人暮らしになっても困らないよう、子どもたちに家事を教えるコーチを担当しています ←自分はゴロゴロしながら指示を出す(笑)。

3 時短の「My ルール」を教えてください

Mさん

6:00 起床&朝食(しっかり食べる!)→7:20 子どもを近くまで送り、仕事へ向かう準備。19:00までに退勤し家族で夕食、21:00に寝かし付けてから片付け&フリータイム！

Yさん

今終わらせられるものは終わらせる、です。ためたらイレギュラーへの対応が難しくなるので、締め切りが遠くても先に片付くものから片付けておくようにしています。

8 未来のパパ・ママへ！耳よりアドバイス

Mさん

夫婦・子どもとの会話を大切に！そして、体力づくりのために自分自身の健康づくりも怠ることなく、食事大切に！

Yさん

体力づくり！あとは週1回スーパーで買い物すれば1週間それなりの食事が作れる料理術と買い物術を身に付けておくとだいぶ楽ができるはず！

7 大忙しな毎日の「一番の息抜き」やご褒美(エネルギー源)は？

Mさん

ごく稀に食べる不定期のギルティグルメ(1番好きなギルティグルメは、ラーメン)。

Yさん

息子が作ってくれる晩ごはんです。息子の気まぐれと冷蔵庫の食材によってはびっくりするくらい立派な料理が出てくることがあって、ありがたいなあと思います。

息子さん
お手製の料理
①④経営企画部 担当課長
M.Nさん
(2019年9月入社)住空間創造事業部 営業
Y.Kさん
(2026年6月入社)

6 仕事と育児の両立！工夫していることや助かっている社内制度はありますか？

Mさん

重要な仕事は午前中に終わらせるように心がけ、残業を減らすことでプライベート時間を確保！最近、子どもと「LaQ(ラクキュー)」で遊んでいます。

Yさん

皆あまり遅くまで残業しないのすごいなと思います。上司の皆さんが率先してサッと帰られるので新入社員としても安心して帰りやすいです(笑)。

一番好きな曜日はいつ？

しんどい日も乗り切る！

私のご機嫌リセット術

週の始まりに憂鬱になったり、週末が待ち遠しくなったり……働く中で「曜日ごとの波」を感じることは誰にでもあるはず。そこで今回は、社内メンバー3人に「好きな曜日」と「しんどい日を乗り切る工夫」を聞いてみました！メンバーの意外な一面や、明日からすぐ真似できる“ご機嫌リセット術”をご紹介します。

住空間創造事業部
無印良品の家 設計
S.Mさん
(2018年8月入社)ザ スタンダード ベイカーズ
副店長
S.Kさん
(2026年7月入社)住空間創造事業部
工務担当
W.Hさん
(2020年4月入社)

Q. 1週間の中で、どの曜日が一番元気ですか？

S.Mさん

土曜日。次の平日休みにしっかり休めるよう、翌週に向けた準備や作業も落ち着いて集中して進められるため。

S.Kさん

金曜日。奥さんの機嫌が良いから(奥さんの仕事が土日休みのため)。土日に向けて競馬の予想をするのが楽しみだから。

W.Hさん

日曜日。やっぱり休日！友達と遊んだり大好きな焼き肉を食べて、モチベと元気をフルチャージしています。

Q. ハードな日を乗り切る！あなたの「ご褒美・リフレッシュ術 & 愛用アイテム」を教えてください。

S.Mさん

- 集中したい作業の時に飲むブラックコーヒー。
- しんどい一日を乗り切った後に辛いものを食べる。
- ピラティスをしてリフレッシュする。主にレッスンで使用していますが、家でもフォームローラーを使って首や脚をほぐしています。

S.Kさん

- さまざまなドリップコーヒーを集めるのが好きで朝晩飲んでます。ホッと一息できます。
- 休みの前の日にエキニシでぶらり一人飯！見知らぬお客さんと話して気分転換しています。一緒にどうですか(笑)

W.Hさん

- 焼肉。タンで始まりタンで終わる。ハラミも好きです！
- Netflixで「ONE PIECE」を観る。好きなキャラは男気あふれるカタクリ！
- ローソンのマルチステンレスボトル。ペットボトルがずっと冷たいまま&結露もなし！真夏の暑い日もこれがあれば安心な、3年愛用している神アイテムです。



東京

変化する東京市場を見極め、体制強化と挑戦で成長へ！



住空間創造事業部
工事部長
S.K.さん
(2004年5月入社)

東京市場では、リノベーションや原状回復工事の需要が高まる一方、資材高騰等により、品質・提案力・対応力が重視されています。現在東京支店は3名体制ですが、支え合い挑戦する姿勢を強みに、人員拡充とスキルアップの両輪で体制強化を図ります。広島・九州の皆さんとも連携を深め、共に機会を創出して成長していきましょう！



東京出張や旅におすすめ！

おすすめは今年引越した湘南エリアです。海岸から望む富士山は絶景で、特に冬の雪化粧は感動的。鎌倉まで足を延ばせば歴史散策も楽しめます。自然と歴史の両方を楽しめる魅力満載のエリアです！



ハマっているコトモノ

リスのYouTube動画にハマっています！実は寂しがり屋で、半年前から単身赴任先でリスを飼うか悩み中…。動画で癒やされる毎日ですが、本当に飼う日は来るのか…(笑)。

都内を中心に、
高級ホテルの改修から解体まで幅広く対応

老朽化に伴う改修依頼が増えており、工期1年超の大型内装工事なども控えています。業務は既存・新規営業から協会の開拓、見積もり、現場管理、請求まで全般を担当！すべての工程に携わるからこそ、お客様や現場と深く関わることができるのが大きなやりがいです。

住空間創造事業部
営業部長
K.H.さん
(2003年3月入社)



東京出張や旅におすすめ！

地元・蒲田のディープな飲み屋街は危険な香りがして楽しめそうです(笑)



とある1日のリアルスケジュール

- 5:00 起床
- ～17:00 現場管理(現場で計画書や見積作成も並行！)
- 18:00～ 事務所へ帰社
- ～20:00 事務処理をして退社！

都心部の再開発を見守りつつ、
現場の安全と仲間を守る！

住空間創造事業部
現場管理
N.K.さん
(2026年3月入社)

主に都心エリアを担当し、現在はホテルやオフィスビルの改修工事に携わっています。都心部では再開発が進み、古いビルが自然と調和した複合施設へと生まれ変わる変化を実感する日々です。仕事は施工・工程・安全管理が中心。特に猛暑の中、現場を支える職人さんたちが万全の状態で作業できるよう、こまめな体調確認と声かけを徹底しています。

7月19日(日)のリアルスケジュール

@都内某大型複合ビル(ガラスフィルム貼り工事)

- 5:00 起床
- 7:00 朝食
- 8:00 現場へ直行(作業前に施工箇所の打ち合わせ)
↓……現場管理・安全管理
- 12:00 近くのファミレスでハンバーガーランチを食べて午後の仕事に臨みます
↓……現場管理・安全管理・翌日の作業の打ち合わせ
- 17:00 業務終了！現場からそのまま直帰



東京出張や旅におすすめ！

自然を満喫したいのであれば、奥多摩渓谷周辺が良いと思います。気軽に行ける場所では、高尾山が有名ですが、奥多摩渓谷も近年、出かける方が増えて人気スポットとなっています。



ハマっているコトモノ

サッカー観戦や音楽ライブに行く事にハマっています。



拠点NOW! ～東京支店・九州支店～

東京と九州、それぞれの最前線でダイナミックな挑戦を続ける2拠点。地域の変化を捉え、現場を支えるメンバーの仕事にける情熱から、ちょっと意外な(?)マイブームまでたっぷりご紹介いたします！

コラボ九州

脱炭素の波に乗り、
提案力と専門性を磨いて九州を牽引

コラボ 担当課長
G.Y.さん
(2017年3月入社)

九州出張や旅におすすめ！

大分出身の私のおすすめは湯布院と別府です。風情ある街並みの散策と名湯巡りをダブルで楽しめるので満足できると思います。



ハマっているコトモノ

3年程前からですが、取引先のおすすめでゴルフをはじめました。最初は付き合いだと思っていましたが、ハマるものですね。いつもスコア100切りまであと一歩という、うまくいかない所がハマるのかもしれない。

福岡のうまか飯

「とめ手羽」の手羽先はスパイスの絶妙な味付けで、お酒と共に無限に食べられます！博多駅近くに2店舗あり、県外の方を連れて行くと喜ばれるので間違いないです。



九州を駆け回り、施工から営業までこなす音大卒職人



コラボ 主任
S.T.さん
(2025年6月入社)

九州出張や旅におすすめ！

どの県に行っても名湯や絶品グルメ(佐賀の呼子のイカ、大分の別府温泉、熊本馬刺しなど)があり、「どこに行ってもハズレなし!」です。九州のどこを訪れても、きっと満足していただけるはずです！



福岡のうまか飯

「天麩羅処 ひらお」はどの店舗もおすすめです。揚げたての天ぷらはもちろん、サービスのイカの塩辛が絶品すぎて天ぷらが来る前にご飯が半分くらいなくなってしまう。塩辛目当てのファンも多い名店。私の鉄板オーダーは「お好み定食」にキスを追加です！



ハマっているコトモノ

小学生から続けているチューバの演奏です。(実は音大卒!)現在は一般市民吹奏楽団に所属し、さまざまなステージに出演中。音楽を演奏している時が一番のストレス解消になっています。

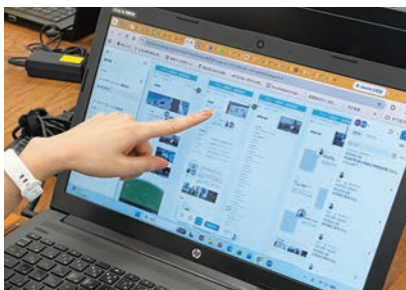


広報室 NEWS テラスHDグループ 各Webサイトが順次リニューアル！

各Webサイトの公開スケジュール

- ・グランゲート広島：2026年2月(公開済み)
- ・桑原組：2026年10月(公開予定)
- ・テラスHD：2027年2月(公開予定)

グランゲート広島公式Webサイト ▶



テラスHDグループでは、現在グループ内の公式Webサイトをリニューアルプロジェクトを進めています。多角的な事業を展開するグループだからこそ、「各事業の魅力や強みがひと目で伝わる分かりやすさ」と「最新情報を発信できる環境」の構築を目指しています。さらに、Webサイトを訪れた方がグループ内の情報をスムーズに行き来できる「回遊性の高さ」も重要なテーマとして設定しました。

本プロジェクトは、各拠点・各事業部の皆さまにご協力いただきながら制作を進めています。また制作パートナーとして、本号の巻頭特集で社長にも登場いただいた株式会社中国新聞アド様、そしてひろしまクリエイティブズグループにもお力添えをいただいております。より魅力的で使いやすいWebサイトの完成を、ぜひ楽しみにお待ちください！

事業部コラム

{ 環境リスクマネジメント事業部 }

技術サポート／K.Aさん

10月23日(金)、東京の「ホテルイースト21」にて「鹿島建設改善事例発表会」の全国大会が開催され、当事業部からK.K部長とU.Hさんが参加します。二人は「安全・担い手部門」に出場し、某企業様の煙突解体工事における改善事例を発表します。現場検討でのスケッチやBIMを活用した改善により、安全確保と工期短縮を両立させた取り組みです。この現場では、鹿島建設様より「絆創膏1枚使うことなく、無事故・無災害で完了できた」と、現場の皆さんへ感謝とお褒めの言葉をいただいたと伺っています。私自身もBIMでの計画図や作業手順書の作成で関わった思い入れのある工事なので、内容の一端に関われたことを大変嬉しく感じています。今後も安全で質の高い現場づくりに貢献できるよう努めてまいります。



{ 住空間創造事業部 }

部長／S.Tさん

先日、約2ヶ月半にわたった大手金融機関(愛媛)の新装工事が、無事、引渡完了しました。現場に行き初めて顔を合わせる職人さんも多く、性格や腕前も分からない状態からのスタートでした。どうすればやりやすいかを常に考え、仕事に限らず雑談も含めて自分から積極的に声をかけるよう意識しました。資材の手配や限られた人数での現場運営など遠方ならではの苦労もありましたが、滞りなく完遂できたことは大きな手ごたえです。

当事業部は、BtoB、BtoCに関わらず大規模な解体工事を除く新装・リフォームから木造・鉄骨まで幅広く対応できるのが大きな強みの一つです。今後は「営業・設計・工務」といった担当の垣根をなくし、みんなが何でもこなせる体制づくりに力を入れていきます。お互いに業務をサポートし合える環境を作ることで、特定の誰かに負荷が偏るのを防ぎ、チーム全体で同じ苦労や喜びを共有できるようにしたいと考えています。どんな建物や業務にも対応できるスキルが身に付けば、一人ひとりの市場価値が高まり、活躍の幅を広げることに繋がります。今期はそうした成長の土台を固めつつ、数字の達成と持続的なチームづくりに努めます。



{ 経営企画部 }

人事・労務／K.Hさん

3月に入社し、早いもので半年が経過しようとしています。現在、グループ全体の労務管理に携わせていただいております。今後もバックオフィスからしっかりサポートするため、さらなる業務の質向上に努めてまいります。

今回は「生活」と「健康」に関わるお知らせです。

【生活】9月は社会保険料の「定時改定」
4月～6月の給与実績をもとに、社会保険の「標準報酬月額」が見直されます。この結果、社会保険料額が変更となり、10月支給分の給与から手取り額に変動が生じる場合がございます。皆様の生活に直結する大切な部分ですので、給与明細をしっかりとご確認くださいませようお願いいたします。

【健康】「ストレスチェック」の実施
日々の業務を行う上で、体の健康はもちろん「心の健康」も欠かせません。そこで9月より、新たな健康経営の取り組みとしてストレスチェックを導入いたします。心身ともにいきいきと働ける職場環境づくりの一環としてサポートさせていただきます。

今後も、スピーディかつ正確な業務に徹し、引き続き尽力してまいります。



{ 広報室 }

デザイナー／T.Mさん

広報室では現在、グループ会社である桑原組が2年後に迎える創業70周年に向けてさまざまな企画を進行中です。70年という大きな節目だからこそ、社員一人一人が主役となり一緒に楽しめるような取り組みを考えています。そして、そんな桑原組のWebサイトが間もなくリニューアルいたします！デザインや構成を一新し、各事業の取り組みや強みがより分かりやすくなってまいりますので、公開を楽しみにお待ちください！

また、テラスホールディングス公式YouTubeチャンネル「TERRACE TIMES+」では、普段なかなか見ることのできない解体現場の様子や、社長への100問100答企画などの様々なコンテンツを配信中です。ぜひご覧ください！

今後もより多くの方に弊社の魅力を発信できるよう、広報室一同努めてまいります。



公式YouTube「TERRACE TIMES+」
(二次元コードからご視聴いただけます)



{ THE STANDARD BAKERS }

製造スタッフ／M.Mさん

先日、メンバーが東京での研修に参加し、店舗でのレシピや素材、製造工程の見直しを進めています。本店の水準に合わせた原料への切り替えや技術の統一で、定番パンがさらに美味しく生まれ変わる予定です。ますますクオリティが上がる自慢のパンに、ぜひご期待ください！

また、10月はお月見をイメージしたパンや、アイデアあふれる新商品が続々登場します。YouTubeやSNSのトレンドから着想を得た「ベーコンデニッシュ」のほか、みたらし団子とベーコンを合わせた甘じょっぱい変わり種「みたらしベーコンサンド」など、試作を重ねた自慢の品々！10月1日(木)からの先行販売(福屋広島駅前店)を経て、5日(月)より店頭に並びます。これからはハロウィンやクリスマスも控えているので、季節感のある限定パンを出したり、「楽しいイベントもできたらいいな～」と考えを巡らせているところです。みんなで活気あるお店をつくりながら、これからも笑顔で美味しいパンをお届けします！



{ LIBERA TERRACE }

キッチンスタッフ／S.Yさん

9月30日(水)に迎える「グランゲート広島3周年」という特別な節目に立ち会うことができ、とても嬉しく思っています！私も間もなく入社1年を迎えますが、シェフや先輩方が作る絶品イタリアンに日々刺激を受け、料理の奥深さと楽しさを実感しています。(普段は前菜を担当していますが、スイーツ好きの私にとって、先輩が作るティラミスは本気で尊敬する美味しさです！)

この1年、既製品を使わず1から行う丁寧な仕込みや毎日の味見など、料理に対する大切な姿勢を深く学んできました。1年目で身につけた基礎や丁寧で確実な仕事をベースに、2年目はもっと視野を広げ、周囲をサポートできる存在を目指したいです。最近はSNSや口コミをきっかけに海外からのお客様も増えており、励みになっています。

これからの秋メニューや、シェフが修業されたイタリア・トスカーナ州の本場の味が楽しめる「3周年特別メニュー」の登場も、私自身一番近くでワクワクしています。

会社とともに自分自身もさらに成長し、リベラテラスが多くのお客様に愛され続けるお店になるよう、これからも真摯に料理と向き合っていきます。



【誌面表記に関するお知らせ】

個人情報保護およびセキュリティの観点より、皆さまにより一層安心して読みいただけるよう、今号より誌面でご紹介する社員のお名前は、原則としてイニシャル表記(社長を除く)とさせていただきますことになりました。(※社報PDFはバックナンバー含め、当社Webサイトにて公開中です！)

